

平成 18 年 2 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸正実
(コード番号 9878 東証第 2 部)
問合せ先 取締役執行役員経理担当 江崎 武
(TEL . 0426 - 43 - 6845)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 10 月 7 日の決算発表時に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 18 年 2 月期通期業績予想の修正 (平成 17 年 2 月 21 日 ~ 平成 18 年 2 月 20 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	39,000	150	60
今 回 修 正 予 想 (B)	37,500	20	60
増 減 額 (B - A)	1,500	130	—————
増 減 率 (%)	3.8	86.7	—————
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 2 月期)	45,295	429	1,992

(金額の単位：百万円)

2 . 修正の理由

当下半期の国内経済は好調な企業業績に支えられ景気回復基調が鮮明となってまいりました。このような経済環境のもと、当社は前期より不採算事業及び店舗の撤退を中心とする地区再構築に取り組んでまいりましたが、売上高は特に野猿地区の店舗を中心に既存店舗の未達が響き、前回予想を 1,500 百万円下回り 37,500 百万円となる見込であります。なお、野猿地区の家電部門及びファッション部門につきましても当下半期において閉鎖しております。

利益面におきましては、販売管理費の削減効果はあったものの売上未達による売上総利益の減益分を吸収しきれず、経常利益は前回予想を 130 百万円下回り 20 百万円となる見込であります。なお、当期純利益は、店舗閉鎖損失 170 百万円を含め特別損失を新たに 190 百万円計上するものの、確定拠出年金制度への移行に伴う退職給付引当金の戻入益 340 百万円等を計上することにより前回予想同様 60 百万円となる見込であります。

本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上